

委員各位

印西市地域公共交通会議

会長 田口 光浩

印西市地域公共交通会議の書面開催の結果について

厳寒の候、貴職におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

また、日頃から市交通行政に多大なるご理解・ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、令和6年1月12日付け印西交第136号で書面により開催いたしました「令和5年度地域公共交通確保維持改善事業の事業評価について」の協議結果について、下記のとおりご報告いたします。

記

1 協議事項 令和5年度地域公共交通確保維持改善事業の事業評価について

2 結果 過半数以上の賛成をもって可決

※印西市地域公共交通会議設置要綱第7条第5項に基づく

(提出された意見)

- ・ちばレインボーバスの事業評価で、ルート延伸に伴う減便が利用者の原因とあげているが、減便が原因であるのであれば、元の便数に戻す案はないのか。区間ごとの乗降客数の調査が必要ではないか。
- ・ふれあいバスとレインボーバスのルートが重複している件に関しては、時間配分（運行時刻）を工夫することで、利用者の利便性が向上するのでは。
- ・木下駅、小林駅の成田線は30分に1本の運行状況であり、バス運行時間との連携は必須であると考え。電車の時刻前後5分程度の余裕を持って運行するのは難しいのか。
- ・利用客のアンケートはとっているのか（利用者ニーズを把握しているのか）
- ・印旛本埜ルートについては、居住地からルート上に出るまでの距離が長く利用しにくいのではないのか。
- ・路地の通行には困難が伴うかも知れないが何か手立てがないものか。

(事務局) 印西市企画財政部交通政策課